

2017年10月9日

「双節（国慶節、中秋節）」で、60億元余りの食費を

国慶中秋節連休の期間で、省全体の小売りと飲食企業が192.0億元の売上高を実現し、そのうち、飲食の売上高が60億元を超え、前年比20%の増となった。

データによると、観光客の結婚披露宴、家族や友達のパーティー、同窓会が多くを占め、飲食企業の売上高が前年比16%以上増加した。その他の市、州の飲食消費も大幅に増加し、いくつかのホテルでは、インターネットでの団体販売などのキャンペーンを利用して収入の前年比上げ幅が5割を超えた。

国慶節連休の期間で、省全体の飲食消費は2013年が約30億元で、今年はその倍になった。公務消費はほとんど略して算入しなくてもいい。

2017年10月10日

ダンボールピンチをエコのきっかけに

最近、多くの生産メーカーとネット企業は「紙資源」で悩んでいるという。国慶、中秋などの連休に、製品販売はゴールデン期を迎えるが、紙の値段の急上昇がコストを上げただけでなく、一部の業者が包装用のダンボール不足の苦境にも直面している。今まで、月餅などに代表される豪華な包装が、今回の値上がりにより終結するかどうか業界内で注目されている。

宅配用ダンボールの値段が適度に上がっているため、コストダウンのために、配達員は客が荷物を開梱後、ダンボールをリサイクルするよう進めている。eコマース、宅配便のエコ意識を高め、ダンボールピンチをエコのきっかけにするために、関係業界、環境保護監督などの機関の介入や、eコマース、宅配便の環境保全に配慮した運営制度を定めることなどが必要とされている。